

Hello! FUJISEI

No. 332

金融資産の保有目的は何か？

「老後の生活資金」が4年連続でトップ

金融広報中央委員会の「平成28年家計の金融行動に関する世論調査（二人以上世帯調査）」によると、金融資産の保有額の平均値は1,078万円（前回1,209万円）と減少し、金融資産保有世帯の平均値も1,615万円と（前回1,819万円）減少しました。

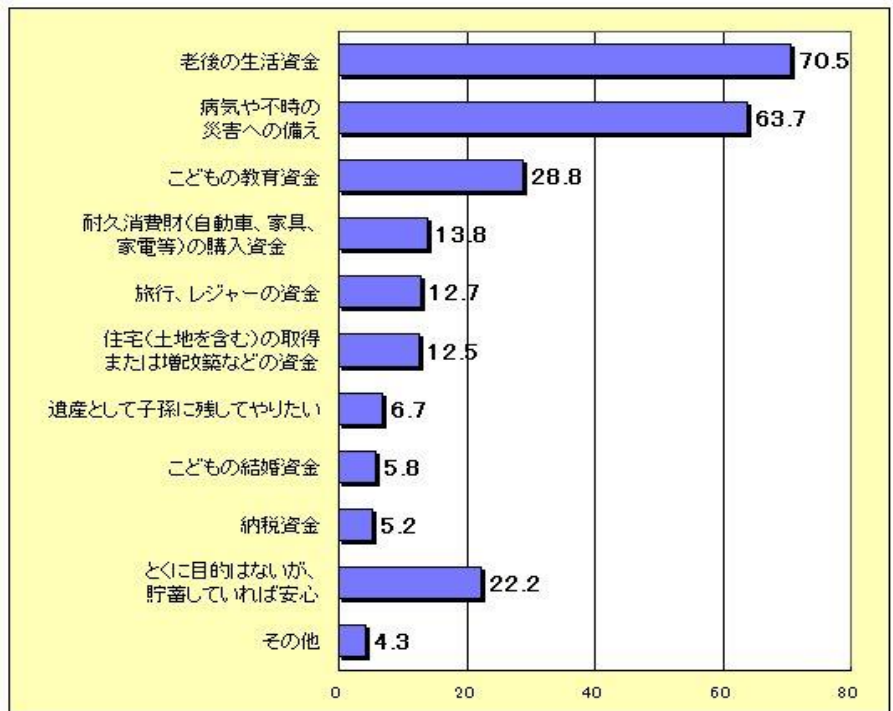
金融資産の保有目的は、「老後の生活資金」が「病気や不時の災害への備え」を抑えて、4年連続でトップとなっています。「老後の生活資金」がトップとなっているのは、公的年金の支給開始年齢の引き上げや増税等による老後への不安の高まりなのでしょう。老後の生活や健康、介護問題、いずれもお金がかかります。

老後は収入の減少に合わせて消費支出を減らすことが必要ですが、それまでの生活レベルを低下させることになり、早めに資金準備をすることが必要となります。

「病気や不時の災害への備え」も依然として高くなっています。少しずつ蓄えるのでは、万のときに間に合わないかもしれません。やはり、契約した時から十分な保障が約束さ

れる生命保険が一番だと言えます。家計の金融商品別の構成比は、預貯金ももっとも高く、以下、生命保険、有価証券となっています。前年と比べると、預貯金、生命保険が増加し、有価証券が減少しています。

金融資産の保有目的（金融資産保有世帯、3つまでの複数回答、%）



金融商品別構成比（2013年～2016年の推移、%）

	預貯金	うち定期性	金貨 金銭付 信託	生命 保険	損害 保険	個人 年金	有価 証券	債券	株式	投資 信託	財形 貯蓄	その他
2013年	55.0	33.7	0.5	15.9	2.4	6.0	16.9	3.0	8.3	5.6	2.3	1.0
2014年	54.1	31.6	0.5	18.0	2.3	5.4	16.8	3.0	8.2	5.7	2.1	0.7
2015年	53.2	32.4	1.0	16.9	2.5	5.9	17.7	1.7	8.9	7.0	2.2	0.7
2016年	55.3	31.7	0.5	17.6	2.0	5.7	16.1	1.6	9.2	5.4	2.2	0.6
2016年の実額 (万円)	893	513	7	284	33	91	262	26	149	87	36	9

金融広報中央委員会「平成28年 家計の金融行動に関する世論調査」[二人以上世帯調査]より

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル